

区民意識調査の結果がまとまりました 集計結果の一部をお知らせします

端数処理の関係で構成比の合計が100にならないことがあります。

区では、区の重要課題に対する区民の皆さんの意識や要望を、今後の区政運営に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。29年度の調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の2,500名を対象に、昨年9月に郵送で実施し、1,257名から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。29年度は、毎年調査している「区政への関心度」などのほか、「漱石山房記念館」「障害を理由とする差別の解消の推進」「区政情報の発信」について伺いました。今回は、集計結果の一部をお知らせします。

調査報告書は区政情報課・区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また、要約版を区政情報課・区政情報センター・特別出張所で配布しています。

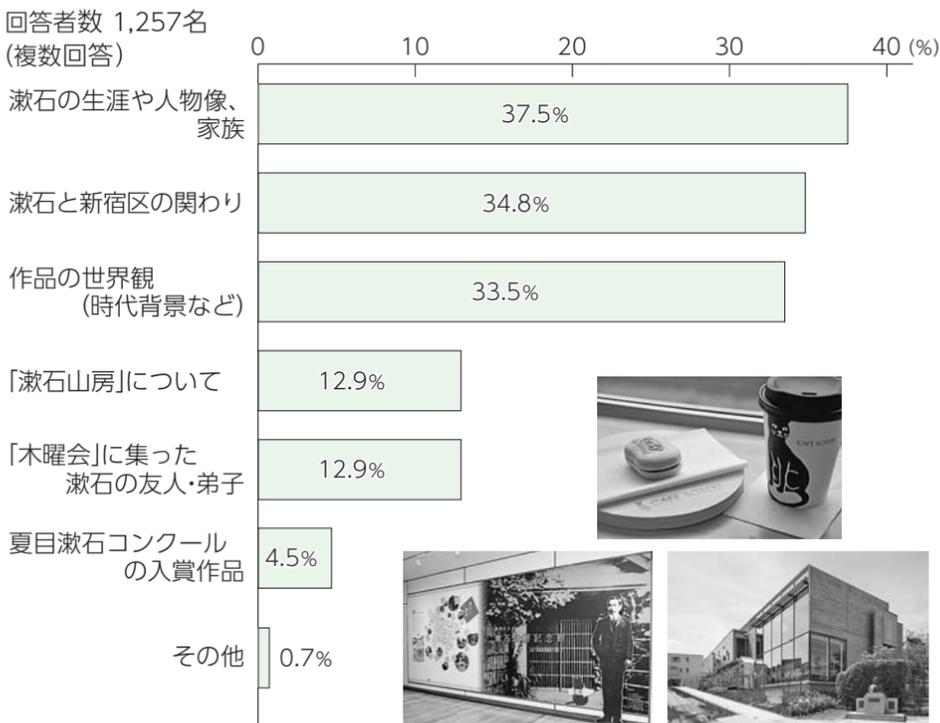
【問合せ】区政情報課広聴係(本庁舎3階) ☎(5273)4065・☎(5272)5500へ。

テーマ1 漱石山房記念館

区では、夏目漱石生誕150年に当たる29年9月24日、かつての「漱石山房」跡地(早稲田南町7)に漱石にとって初の本格的な記念館「漱石山房記念館」を開館しました。漱石の魅力を発信する情報拠点として、皆さんに愛される記念館を目指しています。今回の調査では、「漱石について知りたいこと」「興味がある記念館の事業」「興味のある漱石オリジナルグッズ」など、9項目について伺いました。

◆漱石について知りたいこと

「漱石の生涯や人物像、家族」が37.5%で最も高く、次いで「漱石と新宿区の間わり」が34.8%、「作品の世界観(時代背景など)」が33.5%となっています。

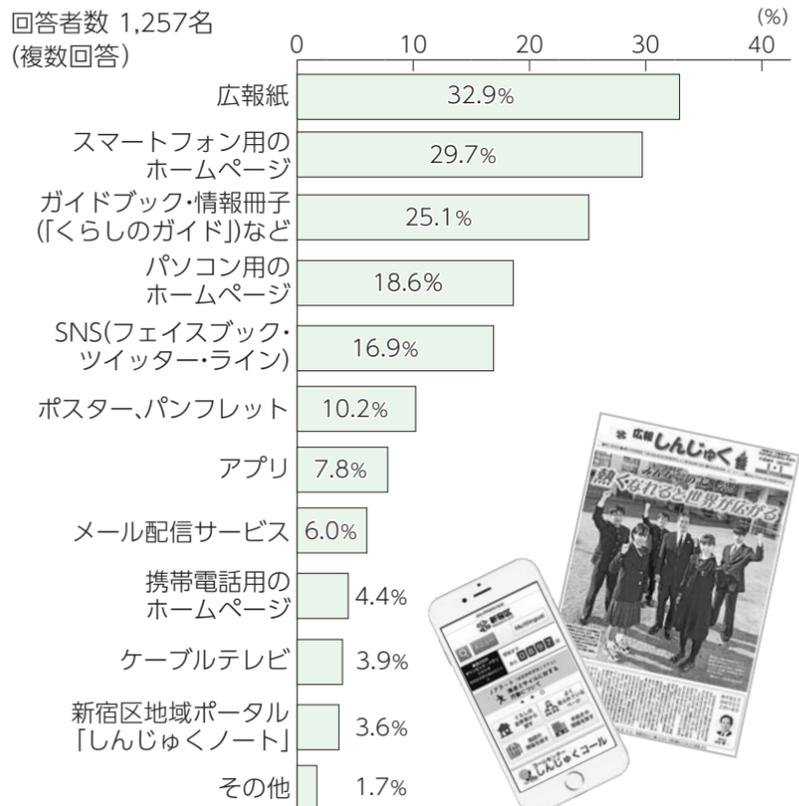


テーマ3 区政情報の発信

区では、広報しんじゅくや区公式ホームページ・SNSなどを活用し、区政運営に関するお知らせや制度、手続き、イベントなどのさまざまな情報を発信しています。今回の調査では、「区の情報発信で力を入れてほしいもの」「希望する広報しんじゅくの設置場所」「特に発信してほしい区政情報」など、17項目について伺いました。

◆区の情報発信で力を入れてほしいもの

「広報紙」が32.9%で最も高く、次いで「スマートフォン用のホームページ」が29.7%、「ガイドブック・情報冊子(「くらしのガイド」など)」が25.1%となっています。

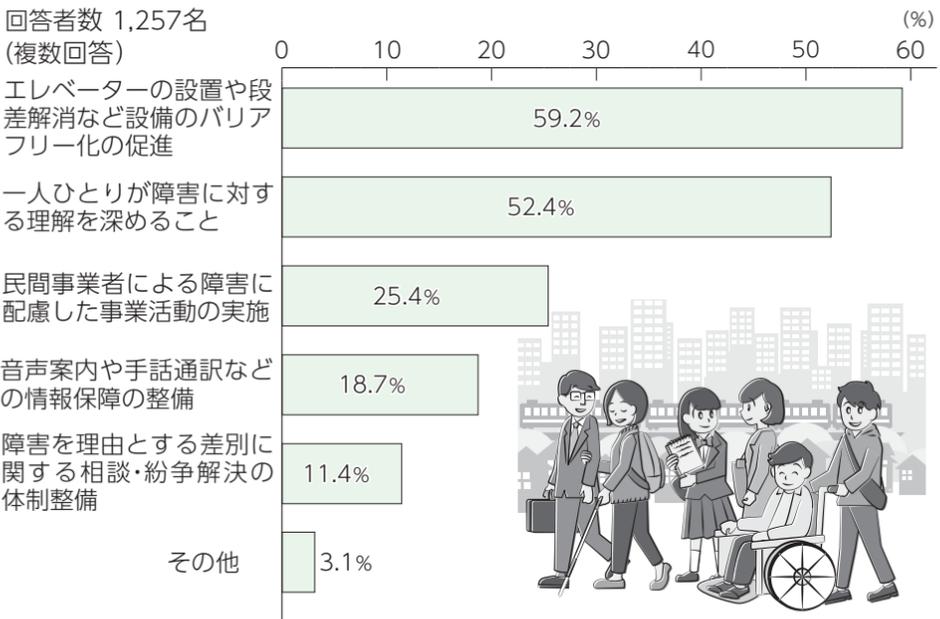


テーマ2 障害を理由とする差別の解消の推進

区では、障害のある人となない人が分け隔てられることなく、住み慣れた地域で誰もが尊厳を持って暮らし続けることができるまちづくりを目指して、障害者の差別の解消に向けた取り組みを推進しています。今回の調査では、「障害者差別の解消に重要なこと」「障害者差別解消法の認知度」「障害の理解に向けて区へ期待すること」など、5項目について伺いました。

◆障害者差別の解消に重要なこと

「エレベーターの設置や段差解消など設備のバリアフリー化の促進」が59.2%で最も高く、次いで「一人ひとりが障害に対する理解を深めること」が52.4%、「民間事業者による障害に配慮した事業活動の実施」が25.4%となっています。



毎年実施している調査項目から 区政への関心度

区政に積極的に関心を示す「非常に関心がある」(16.4%)と「少し関心がある」(45.8%)を合わせた《関心派》が62.2%となっています。《関心派》は25年度以降、60%台で推移しています。「非常に関心がある」は昨年度より4.1ポイント減少しています。

